

第2回 吉富ミライづくり会議 議事録

日 時：令和7年7月28日（月）18:30～20:30

場 所：吉富フォーユー会館2階研修室

参加者：住民20名、役場職員23名、社協職員4名
（うち、オンライン参加者5名）

志賀設計3名、Maeda DESIGN LAB1名

発信者	内 容
未来 別府氏	多世代交流型複合施設整備をテーマとする未来づくり会議を開催します。
吉富 副町長	会場にお集まりの皆様WEBでご参加いただいている皆様には当事業に関心頂き感謝申し上げます。 限りある時間ですが、有意義な会合となりますよう、ご協力の程、宜しくお願い致します。 こんにちは。会場の1/3ぐらいは職員な気がします。この事業には職員も凄く興味を持ってくれています。 少し私からも概略を説明させていただきます。 吉富町では大きな規模で町民の皆様がご利用できる施設はフォーユー会館で、町の50周年記念行事という形で建設をしました。 2.3年前に町が80周年になりましたので、フォーユー会館ができてから30～33周年となりました。同じ時期に駅前のあいあいセンターこちらも建設30年ぐらいいつております。 近年では町営住宅を建設しております。 今回、町民の皆様が何か活動したり、様々なことを相談したり、遊んだりというような建物の建設が30数年ぶりとなります。この30年間の間で一番ご利用頂いているのがフォーユー会館です。 30年前と今では皆様のニーズは大きく変わってきました。 30年前は高齢者の方たちにも活動に必要な施設でもありますし、子供たちにも必要な施設はなにか考えてきましたが、30年前は外でバリバリ遊んでいた時代です。 町内も当時は遊具を設置した児童遊園が何箇所も整備され、子供たちが外で遊んでくれていた時代でした。 今はすごく暑く、夏の時期に外で過ごしたり、遊ばせたりは難しいです。防犯面でも安心して外で遊ばせるというのも難しい時代がやってきました。 また吉富町には図書館がありません。フォー・ユー会館の2階の奥に図書室があります。当時は一生懸命に作りましたが、今は近隣の市や町に図書館があって、色んな世代の方たちが本を見ながら交流をしたり、子供たちに勉強させたり、読み聞かせをしたりといったことが今の図書室ではそのような活動は行いづらい状況です。 吉富町は小さい町です。小学校も役場から歩いて5分ぐらいのところにあります。町の中心に色々な施設を建てるのには一番いい場所だと思っています。 小さい町なので他の市町に比べたら、吉富町役場、社会福祉協議会、あいあいセンター、子育て支援センターや学童は、実はよ他の町に比べるとものすごく集約しています。それでもまだ色々な場所に、散らばっています。何か相談事をするにしても、一度役場に行って、その後あいあいセンターに行って、そのあと学童に行く、狭い中でも色んなところを移動しないと様々な相談事が完結をしない、色困りごとが完結をしないなどの、意見を皆様から頂いただき、3年ほど前から計画がスタートしています。 最初に基本構想で、どのようなものを皆様が欲しいのだろうか、どのようなものが吉富町にいのだろうか構想を、3年前に1年間かけて作成しました。構想時に吉富町全体にアンケートを郵送でお送りさせて頂いて、町民全員から意見を聞く動きをしました。 翌年に、基本計画を策定致しました。その中で、テーマとしてまちのリビングという目標を策定しました。私が色々話した内容、これを吉富町を1つの家族と見た時におじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、おばあさん、子供たちが何か相談をしたり、話をしたりする時に、リビングに集まって色々な話をしたりすると思います。家族がみんなが集まって色々な話が共有して聞ける、そのような場がふさわしいのではないかと ということで、まちのリビングをテーマにしスタートしています。今年は、いよいよ工事に向けて具体的な配置なりを決めて、実際の金額を見積りを行うのが今年です。その後、設計図書を元に、業者に発注するための設計図書に合わせて、工事を発注するし、いよいよ工事が始まる手前まで今来ているところです。 本日は皆様から施設を作るにはあたり、町の考えだけではなく、町の皆様の考え極力取り入れ、皆様の気持ちに沿った建物にしたいということで、会を設けさせていただきました。皆様の忌憚のない意見を聞かしていただいて、1つでも多くの意見を反映したいと思っています。ただ、100%は厳しいです。ですが、皆様の意見をなるべく取り入れた設計を行いたいと思います。しっかり意見を聞かしていただきたいなと思っています。

発信者	内 容 ※簡条書きで記入
未来 別府 志賀 八島	職員がたくさん来てるのは新施設に合わせて、町の気候改革も行う計画です。現在、新施設に入る部署等を役場で再編し、相談事は新施設だけでできるようになる。また最低限役場で行うことはあるかもしれないんですが、そのような相談事は一括でできるようにする。そのような形で町も気候改革を合わせて行う予定です。職員も一生懸命です。どのような形が一番町民の方がワンストップでできるのか日々様々な研修を頑張っている。今最後まで有意義な意見をいただきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。 これより先の進行は、当事業の基本設計を担当しています。志賀設計・MAEDA DESIGN LAB共同企業体にお渡ししたいと思います。 どうぞよろしくお願いいたします。 今回の基本設計を共同企業体2社で行っております。私が志賀設計の八島と申します。MAEDA DESIGN LAB前田です。 和才副町長から詳しくお話がありましたように、今回のプロジェクトは、設計の第3段階に入っています。2年前に基本構想、去年基本計画ということで、そして現在は基本設計という段階に入っております。今年度の3月までには、どのような形で作っていくか、中に入る機能をどのようなものを入れていくか、広場など色々なものが入ってきます。それから建物をどんな形にしていけるか、副町長からお話しがありました運営していく組織をどのように作り上げていくか具体的に決めていきます。 来年以降は、生産設計とい、工事のための図面を描く時期に入ります。今日の公聴会がおそらく町内の皆様のご意見を、揃ってお伺いするのは最後の機会になるかもしれません。皆様の忌憚のないご意見をいただきまして、複合施設をより良いものにしていきたいと思っています。 どうぞ協力をよろしくお願いいたします。 皆様のお手元に今日の目次をお配りしております。概要を説明させていただいた後、意見交換をしていきたいと思っています。今日の意見交換は主に3つのテーマを設けております。 1つ目が、図書サービスの機能です。充実した形ではない図書館機能をどのように作っていくのか。それから交流施設全体に対して皆様が、頭の中に描いている活動をどのように行うのか、イメージを皆様からご質問やご意見として受け賜りたいなと思っています。 2番目に子育て支援と健康活動で重層的支援に求めることはなにか。この重層的支援とは、最初にまちのリビングを作ろうと発想をした時に、施設みんなが集まって楽しく交流しようというイメージから始まったのですが、ご家庭の中でも、リビングに集まると楽しい話だけじゃなくて、色々困った問題や辛いことなどもやっぱりリビングでお話すると思います。子育てや健康に関しても皆様1人1人、あるいはご家庭で、お困り事があると思います。そのような楽しいことから困ったことまで全部色々な形を新施設でサポートをしたいというのが、重層的な支援ということで考えております。子育てと健康に関して幅広い支援をやっていこうと思っています。それに対してご意見やご質問をいただきたいと思っています。 最後に新施設は地域の防災拠点として整えていきたいなと思っています。災害がこのエリアで起こった時に、複合施設が皆様の非常事態での生活や活動をサポートするような拠点としても作っていきたいなと思っています。防災拠点に関してもイメージや、ご意見をいただきたいと思っています。 これから多世代交流型複合施設の概要を説明します。 資料としてはたくさん用意していますが、全部説明しますと皆様のご意見が聞けないので省略しながら進めていきたいと思っています。 赤い文字だけ注目して見て頂きたいのですが、シビックエリアというのは役場などがあるこのエリアです。町役場やフォー・ユース会館エリア一体全体をシビックエリアと呼んでいます。シビックエリア全体を考えながら複合施設を建設していこうと考えております。 そして、次に多世代交流型複合施設の整備事業の基本計画を策定する背景を書いております。 ①各サービス施設が町内に分散しており、アクセス面での不満が残る。先ほど副町長もおっしゃいましたように、お困り事やあるいはここに集まって様々な交流をしたいとかいうことが、この複合施設に来られるとほぼ満足できるあるいは、サポートを受けられるというような施設をここに集約させようという狙いを持っております。 次に④、色々な世代が交流できる場所、趣味や地域活動で共有できる場所が今はないので、整えていきたい。 次に⑤、子育て、健康、生活の不安や悩みへの対応を充実させるスペースがもっと必要。 次に⑦、障害がある方々にも対応したユニバーサルな建築を作っていこうというようなことを重層的なサービスというようなことで捉えて頂きたいと思っています。 次に⑧、持続可能なまちづくり、環境への配慮、SDGsなど吉富町は最先端な様々な取り組みを町として、非常に先端的に行っています。福岡県内では決して大きな自治体ではないのですが、このような部分では他市町村に負けないようなです。レベルの高いものを作り上げていきたいということを目論んでいます。 「まちのリビング」という言葉が出ています。これは先ほど説明した通りまちのリビングというものが、複合施設に持たせる機能として3つ考えております。 1つが子育ての支援機能。2つ目が生涯健康支援機能、3つ目が図書サービス機能と、複合施設にこの3つの機能をもち込もうと思っています。 現在そのような方向で進めています。

発信者	内 容 ※簡条書きで記入
	最後の段には、⑥を具体的に書いております。令和3年に脱炭素日本一宣言。それから令和6年にはSDGs未来都市に選定されました。 基本計画では、循環型再生可能エネルギー、DX技術をベースにしたサービスを盛り込み、最先端の技術にも取り組んでいくという風に考えております。そして、緊急防災減災事業、それから新しい地方経済生活環境創生交付金を受けながら事業を進めていきたいと思います。財政にできるだけ負をかけない形で取り組んでいきます。 次のページに、「まちのリビング」と記載があります。 このテーマは、基本構想の時に作り上げたテーマです。基本設計でもこのテーマを掲げて進めています。 先程、3つ申し上げました子育て支援、生涯健康支援、図書サービスと3つあります。 令和5年に、皆様にアンケートを実施致しました。 30%以上の回答率ということで、自治体が行ったアンケートで3割もご回答頂けることは少ないです。その時のアンケートのまとめを記載しております。 子育て支援機能の関連アンケートとして、子供に関わる様々な事で皆様からアンケートを頂いた内容でございます。子供の教育に関すること、健康発達に関すること、それから経済的な負担や自分の自由な時間、悩みや不安、など頂いたアンケート要望を元に基本設計を進めていきます。 子育て支援に関するアンケート調査で、子育て支援としては安心安全な子供の居場所づくりというのが1つ大きな問題としてあって、もう1つとしてサポート関係があります。皆様が集まり居場所として複合施設を使っていただくという部分で、先ほど申し上げました、重層的な支援ということで、様々な対応できるように相談情報発信、発達障害児の相談窓口、子供自身が相談、あるいは子育ての相談病院情報などを共有し重層的な支援を行おうということ考えています。 次に2つ目の機能として生涯健康支援機能です。 子供から高齢者に至る全ての世代の人たちの体と心の健康サポートをする施設を目指しています。高齢者の健康づくり、高齢者と子供の交流、障害がある方への支援、働く世代の健康サポート。経済的困窮家庭の支援などと、積極的な健康づくりという部分と、困ってある方のサポートをしていく方針を考えております。 令和5年のアンケートではアスレチックルームがほしいなど多数の方からご意見いただきました。それからカフェや飲食店や住民のサークル活動に対応した貸室、自由に使えるお部屋、貸キッチンルームなどもご要望頂いております、盛り込んでいきたいと思っています。 障害健康支援施設に関してのご要望を、まとめましたものを簡条書きにしています。ジム、トレーニングスペース、囲碁、談笑、それから体験スペースなどがあります。それから調理や飲食ができるスペース、ステージやイベントの広場というような要望がありました。 3つ目が図書サービスの機能です。アナログからデジタルまで様々な情報ツールを用いて利用者に提供するサービス機能です。吉富町に一番ふさわしい図書サービス機能を皆様のご意見も聞きながら作っていきます。 デジタルのサービスも踏まえたところで、ある程度充実させていきたいと考えています。 子供連れでの利用、学生の勉強での利用、家庭や公民館からのリモートでの利用。窓世代がどこでも自由に気楽に図書館に来て本を開くだけでなく、図書に皆様が求めるデータがあり、実際に見ることもでき、デジタルでデータに触れることもできるというようなものを今目指そうと考えています。 こちらは令和5年度の図書関連のアンケートの結果です。 学校や自宅以外で快適に自習ができるスペースが欲しいというのが非常に多いです。小学生や中学生の方々がこの場所に来て、勉強や図書やデータなどを見ながら勉強ができるような場所を充実させていきたいと考えています。 例えばこの地域の歴史に関するサービスということでも、吉富町を若い世代に知っていただく上で重要でないかということも考えます。会話しても大丈夫のグループ学習ができるという、ざわざわした中でも図書を利用できるというようなことも、今計画しているところです。 図書サービスに関するご要望も色々ありまして、まず蔵書の拡充。現在蔵書数をどのくらいするか担当の部署と話を進めているところです。子育て世代の方にとって幼児や児童を連れてここを利用したい。それから居場所や居心地のいい場所を求めています。次にサービスの充実や拡充、これまでに無かったような様々なサービスを充実させていく。次には個人活動のスペース、自宅作業が増えてワークスペースが欲しいというもの既に学習や会議のスペースが欲しい。それからICTの導入とデジタルを充実させたものを盛り込み、皆様の利用の幅を広げていくということ考えています。 先程説明した3つの機能を頭におきながら、子育て支援と生涯健康支援と図書サービスと具体的な内容でしたが、そのサービスのやり方についてこの施設の在り方を示しております。重層的な支援、それから町民活動の活性化、それと教育と学習ができる場でもある。そのような施設としてこの複合施設を作っていきたい。そして吉富町の皆様への町民サービスの1つのあり方として、この施設を完成させたいということで現在の計画に至っております。 以上が多世代交流型複合施設の概要です。説明をした方向で今進めています。

発信者	内 容 ※簡条書きで記入
町民 新宅	これから皆様に意見交換していただく3つのテーマは、図書サービス機能・交流施設に望む、町民活動のイメージ。それから子育て支援・健幸活動における重層的支援に求めること。 そして、最後域防災拠点として求めること。 皆様にご意見頂きたいと考えています。 それでは皆様のご意見を色々とお伺いしていきたいと思います。 私は去年の11月に転入してまいりまして、3月に第1子が生まれたんですけれども、すぐあいあいセンターや子育て支援センターにお世話になっていて、様々な活動されている印象を持っています。今回この交流施設で多世代が交流する点に関して、プレゼンの中だと何があるのかっていう話に終始しているなという印象を受けました。 ものがあるだけで交流が生まれるのかどうかという私は生まれなと思っています、その交流を生むための仕掛けだとか、それこそ持続可能なまちづくりのもので、その上でどのように持続可能にしていくのか議論はされているのかどうかちょっと気になったので質問です。2年間取り組まれてきている中で議論を差し戻してしまうかもしれないですが、どのように交流を生んでいくのか考えていることお聞かせ願いたいなと思っています。
志賀 八島	ありがとうございます。大変核心をつく、ご意見、ご質問で重要な話だと思っています。先程、副町長からお話がありましたように、今日、町の職員さんの方もたくさん来ていただいているのですが、複合施設に入られる予定の課の方々たちは、横の連携をしながら、イベントの企画であるとか、皆様のご意見を取り入れ、行かれる予定の夏祭りそのような企画を複合施設で行っていくことになります。その組織体制づくりを行わないといけないと考えています。現在はそのような作業を始めています。私の方から以上ですが、町役場から他はありますか？
町民 新宅 未来 別府	ありがとうございます。この施設を利用するのは町民だと思うのですが、町民の方をどのように巻き込んでいきますか。 ジャンルごとの方向性やその他意見を聞く機会必要かと思っているが、具体的な取り組みという部分までは話が進んでいないのですが施設の設計と同時に今ご質問にあったような体制づくりを今後並行して、取り組んでいく段階です。
町民 新宅 志賀 八島	ありがとうございます。ぜひ、また機会があれば参加をさせていただきたいなと思っていますので、よろしくお願いします。 補足ですが、例えば今回カフェを設置予定で、このカフェをただ町が運営するのではなく町の方々のボランティアとして週に何度か運営して頂くとか、これから皆様と相談しながら、投げかけていくと思います。 そのような声を受け止めていく町の課も必要となってくるかと思いますが、そのようなものこれからの会議で出来上がっていくと思います。 またいろいろご意見いただければと思います。
町民 土屋	本当に期待しています。 町が始まってからずっと図書館がないんです。図書館がないということは本の貸し借りだけではなく、本が並べてあるだけでも重要なんです。 図書館というものは、町民の知的好奇心を高めてそしてそれに答えていく、町民を賢くしていくような場なのです。50年経つ私でさえ吉富町について全く知らない状況です。図書館として存在するということを強く望みます。それから運営していくことが最も大事なんです。 それから私たちは読書のボランティアとしていっぱい巻き込まれています。若い新しい方も巻き込んでいけるような仕組みをぜひお願いしたいと思っています。
志賀 八島	ありがとうございます。今から一番大事な部分になりますので吉富町様と共有を重ねながら組立出来ればと思っています。また様々なご意見を頂き取り入れていきたいと思っています。こちらのサービスとして町から何かございますか。
教務 石丸	今図書室がありまして、この施設で図書サービス機能が大きくなるということで、今ご意見いただいた土屋先生とも色々なお話をしながらどのような機能が必要なのかお話をしています。一番印象に残っているのは他の市町村の図書サービスを使うということもできるんですが、吉富町に関する資料は他の市町村にはないよねと言っていました。先日県立図書館に行く機会があり福岡県の図書の棚をみたのですが、さほどボリュームもなく、吉富町を集めるとしてもさほどはないとは思いますが、職員が発行している吉富町に関する資料だとかを、そこに行けばすべて見れるような環境を作ることが必要と思います。そこに行けば吉富町のことが網羅してわかるようにしていきたい。 また機能については子育てや学校や読書のボランティアと一緒に検討できればと思っています。
町民	前回の話を聞いていますと、とにかく図書館ありきで話が始まって、それに終始したような気がしました。まずどのような図書館にするか話をしないとなんか逆みたくに私は感じました。図書室ありますよね。あの図書室は処分するのですか。図書館ができれば、一番変に思ったのが、図書館の設計の方まで見えて今日はこういうことを町は考えてますよ、こういう複合施設に図書館も作つたらいいんじゃないかと、子育てについてはどうしたらいいのかとか、これが最初の話じゃないかと思うのですけどね。前回、聞いた時にちょっとがっかりしました。 ただ図書館ありき、図書館ありきっていう話みたいな気がしましたんで、ちょっと意見として、それと今ある図書室をどうするのかっていうことですね。
志賀 八島	貴重なご意見をいただきましてありがとうございます。前回令和5年にアンケートでご意見を伺い、それから、公聴会もその後実施いたしました。最初にお話が持ち上がった時は確かに図書館が非常に強い施設からスタートしているので事実だと思います。大変今のご指摘は、的を射ているのではないかとと思っています。

発信者	内 容 ※箇条書きで記入
町民 土屋	その後、皆様のアンケートや町役場の皆様ともいろんな施設を見学に行ったりする中で、多世代交流型の複合施設って何だろうなということ、議論をもう一回させていただいて、今日お示したような3つの機能を、それぞれバランスよく配置する形になりました。今日その発表をさせていただいていますので、ご指摘の通りだと思っておりますので、今日はそういうことでまご意見いただければと思っています。 現在の図書館は蔵書関係により、新施設に引っ越してくるような形になります。配置については今、町役場の方と協議させていただいております。今度の新しくなる図書サービスは、今持っておられる蔵書ももちろんですが、それ以外にも充実させたいということも考えます。 皆様にオープンにしている開架や倉庫のようなところに置いている閉架書庫含めまして、これから様々な検討をしながら決めていくという形になります。使い方とかで何かご意見とかはないですか？ お願いしたいのは多目的室とキッチンスタジオというのがありますよね。充実させてほしい。要望で子供食堂を作ってほしいという要望がありまして、実際に活動し始めた人がいるが十分なスペースがないです。
町民	活動できる特定の場所ができると結構吉富の住民は頑張る方が多いので、場所をとにかく作ってください。 フォー・ユー会館では狭い部屋でしか食べられないです。ゆっくりして、子供たちとも話すことができないです。できる限り子供たちもそこで食べられる部屋、私も含めてですが年を取った方が行けて、お友達と一緒に食べていい部屋が欲しいんです。食べる事によって、すっごくいい顔をするし、交流ができます。くつろげてお友達とそれぞれのテーブルで会話ができるお部屋をぜひ作っていただきたいと思います。
志賀 八島	はい、ありがとうございます。前回の公聴会の時もキッチンスタジオ作りますっていうようなことを申し上げた時に、どこで食べるのというようなお話をいただきました。作ったらすぐ隣で食べられるような部屋があって、できたら畳があると、子供さんや不自由な方とも、その畳の上で自由に靴を脱げるからいいというような話がありました。基本設計という設計でございますので、間取りとかを書き始めております。今日はお見せする段階では、ないのですがその中にはキッチンスタジオがあります。横には食事ができる部屋を作成しております。どのくらいの部屋がいるか子供食堂も、少しずつ行っているというような話もお伺いしています。
町民 富野	部屋等のサイズは今日でなくても結構ですので、お声を聞かせていただければ、できるだけ、近づけるように間取りも考えていきたい思います。 web参加のため資料いただいていないので、理解できてない部分もあるんですけども、資料はホームページ等で頂けたりしますか。 図書サービスに関して県外から移住してきて、東京と江戸川区に住んでいたんですが、高齢者施設や子供の支援を両方とも兼ね備えている地区で図書サービスに関して一体どのような構想しているのかわかりません。行橋市にあるリブリオ行橋は、貸切りの会議室や子育て向けの遊び場、勉強ができる場所、パソコンを使って資料みせたりする場所があると思うのですが、そのようなものを作ろうとしているのでしょうか？ 図書館もフォー・ユー会館を使わせていただいているのですが、少し手狭です。北九州市や行橋市、築上町の豊前市や京築地区、大分県ですが中津の図書館施設のサービスを取り入れてもらえたら嬉しいなと思っています。 2つ目ですが、0歳児の子供を育てています。あいあいセンター、支援センター、フォー・ユー会館を使用しています。嬉しいことに、子供もいろんな遊びを楽しんでいます。正直なところでいくと、支援センターとアイアイセンター両方同じ兼ね備えたような場所を作りたいと思っているのではないかと考えています。 具体的に遊具だとか、イメージ的はあるのか。、中津イオンの2階のように室内で遊べるような場所を作りたいのか、それとも外で遊べるような場所を作りたいのか分かりません。求めているものは室内で遊べる場所です。 この小さい町ながらとても充実しているサービスがたくさんあると思います。
志賀 八島	今20代、30代の子育てで、お母さんがたくさんいらっしゃるので、支援センターやあいあいセンターに来ている時に、意見を求めるとか、LINEやInstagramで気軽にアンケート答えられるような窓口を作っていただきたいなと思ってます。 はい、ありがとうございます。Webなので資料がお手元に届いてなくて、申し訳ございません。 具体的な内容については、吉富町のホームページの中に基本計画書というのにもっと具体的なお部屋とか、それから大体の全体のプランニングなどが載っています。それをご覧いただいていろんなご意見いただけたらなと思っております。 東京の江戸川区のご施設をこれまで使われたということで、吉富町の人口から行かしても、かなり規模も違うかもしれませんが。皆様のご要望に答えられる部分があればやっていきたいと思っております。なので、それは支援センターの方にお届けになられてもいいですし、その辺はWebでも、確か寄せるようになってますよね。
未来 別府	各種のご意見に関してはですね、子育て支援センターの方もですし、職員の方が来られた際に新しい施設に求められるものは何、こういったものが必要でしょうかというヒアリングもしています。ここで言いにくい意見とかもあれば施設の場所でご意見もいただければ、我々としても抽出してきただと思っております。
志賀 八島	はい、ありがとうございます。 地域の防災拠点として求めることに関して皆さんご意見をいただきたいなと思っています。これに関してご意見がある方は挙手をお願いいたします。いかがでしょうか。これに関しては、補助金などもありますので、吉富町のほうとしては補助金を活用しながら防災の拠点として使える施設や設備を整えていきたいと考えています。
町民	防災拠点についてお話がありましたが、吉富町として最終的にどこが本当の防災の拠点に考えていますか。防災訓練は小学校や中学校に集まっています。学校は本当の防災拠点じゃないと思います。避難経路の安全の確認とか、そういうために避難訓練していると思います。最終的に吉富町として本当の防災拠点などをはっきりし、防災のことを考えてもらいたいと思います。
未来 別府	防災拠点施設としてフォー・ユー会館は避難場所の1つとして設定しております。吉富小学校も避難所の1つとして設定しております。今後、様々な防災拠点の中にもそデジタル機能を持たせるような視点で施設の中にも当然防災機能が充実したような施設として何が必要かご意見いただければと考えています。防災避難訓練については、地域防災の制度を高めていく背景があります。 それぞれの自治会の自主防災組織の機能が高まれば、ある程度防災支援っていうところの対応と考えています。町域が狭いというところで一か所に集まって、同じところで訓練をしているが背景がございます。新しい施設については、施設の機能として循環型再生可能エネルギーの利用を新しい施設には持たせたいと考えています。合わせてどうしても地上の電波が届かないと何もならないということもございまして、そのような視点も防災拠点施設の中には機能として持たせていきたいと考えております。

発信者	内 容 ※箇条書きで記入
町民	防災拠点がいくつかあるのはこの市町村も同じだと思うのですが、どこに行けばこれがありますやどこに行ったらどのような支援がありますっていう情報が、やっぱり一番欲しいと思います。電気が生きてれば水もなんとかなると思っています。なんで、物質的な部分と情報の部分が、一番大事なかなと思います。
未来 別府	電気もですが、通信の機能についても持たせていきたいと考えております。町域が狭いのである程度、シビックエリアに学校の施設や役場の庁舎もございいます。ある程度の機能が果たせるような場所にしていきたいという思いが防災拠点という背景がございます。通信環境というところも配慮しながら施設設計を考えているということです。
町民	2階建てですか。エレベーターは設置されていますか。
志賀 八島	エレベーターは設置しています。
町民	ただ、エレベーターはあまり目立つところに付けない方がいいかなと思っています。素敵な階段を造りたいと思ってまして、階段をできるだけ使っていただきたいです。。そこに座って本を読んだりできるような、そんな階段にしたいなと思っています。
町民	荷物を持ったり、お母さんやお父さんでちょっと足の不自由な方もおられるので心配しました。
志賀 八島	それとキッチンスペースがありますよね。その横で食べる部屋は畳ですか。
町民	和室です。
志賀 八島	お年寄り椅子がいいです。
町民	おっしゃる通りです。
志賀 八島	子供たちも椅子で食べています。こぼしたり、濡らしたりする。ちょっと休む、お年寄りがちょっと休んで横になりたいのは畳ですけども、食べるのは椅子じゃないとなかなか座りづらいです。
町民	私もそうです。
マエダ 前田	防音室はありますか。外からの、音が聞こえないように。
町民	防音室のご要望もいただいております。ですが、最終決定はしていないのでなるべくそのようなお部屋を作れるように努力はしてるという状況です。防音室は何に使われるんですか？
志賀 八島	朗読です。
町民	その点は、承知しております。
志賀 八島	今回の複合施設はコストもかけれないというところがあります。様々な機能を1つの部屋で賄えるようにお部屋づくりをしていきたいなと思っています。
町民	ます。多目的に使っていただきながらの防音の部屋っていうのは1つ考えてもいいのかなと思っています。
志賀 八島	この施設は何年くらい使うというイメージで建てられるのか教えてください。
未来 別府	先ほど1世代30年って言われていましたが、もう少し長く使っていただきたいなと思っています。2世代ぐらい使用いただけたらと思います。現在、鉄筋コンクリートか、鉄骨で造るか、木造でやるか検討しています。し木造もいいのではないかなというご意見もいただいておりますので、これから検討して、一番ふさわしいもので造ってきたいなと思っています。なので1世代で終わるようなものではないです。
志賀 八島	他によろしいでしょうか。
未来 別府	長時間ありがとうございました。貴重なご意見をたくさんお伺いしましたので、この事業の中に織り込んで、考えていきたいと思っています。皆さまに喜んでいただける施設にしたいと思っています。ご指導ご鞭撻よろしくお願いしたいと思っています。